

60 広エネルギー帯域で高効率な テNDER-X線多層膜鏡の開発

テNDER-X線(2~4keV領域)に対する反射率を高効率化できる非周期膜構造を持った広エネルギー帯域多層膜鏡の開発とその応用技術

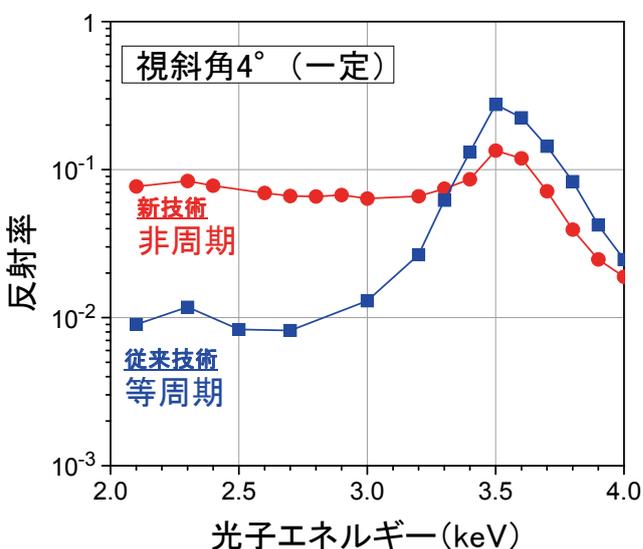
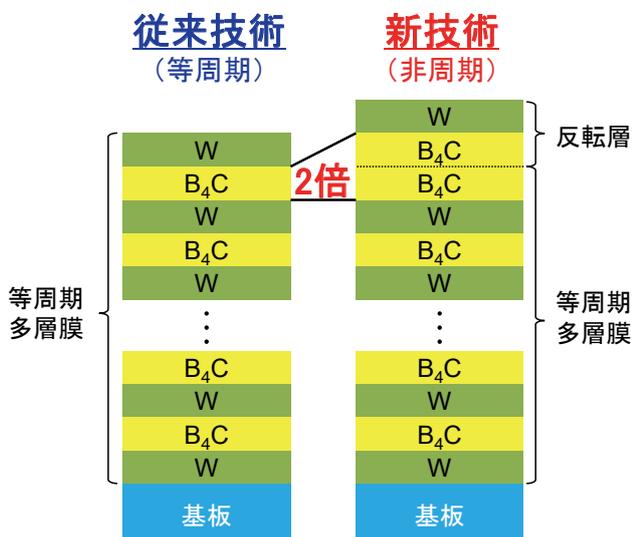
シーズの特徴 (成果含む)

(課題)

従来技術(等周期多層膜)の場合、反射幅が狭く、一定入射角で使用するような光学デバイスへの応用は困難

(成果)

非周期構造を持たせることで、広エネルギー帯域で一様に高効率化



テNDER-X線において反射率の広帯域化を実証

- 凹面基板や回折格子の反射膜として応用することで、テNDER-X線研究のキーデバイスとして貢献

アウトカム

X線分析技術向上による機能性デバイス材料研究に貢献

知財等関連情報

- 1) 特許第5669295号(多層膜光学素子)
- 2) J. Phys. Conf. Ser. 425 (2013) 152008.

アウトカムに至る段階

応用段階

連携希望企業

光学メーカー、分析機器メーカー

担当者

量子ビーム科学部門
次世代放射光施設整備開発センタービームライングループ
今園 孝志

本シーズの問合せ先：量子ビーム科学部門研究企画部(qubs-techoffice@qst.go.jp)